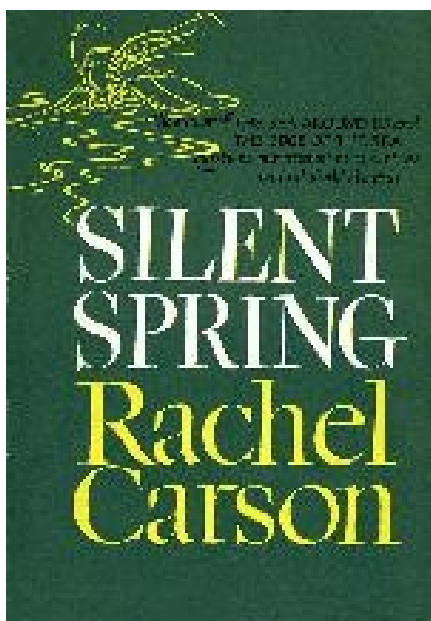


レイチェル・カーソン巡回展

レイチェルから環境に向き合う姿勢を学ぶ

期間 6月19日(土)～27日(日)

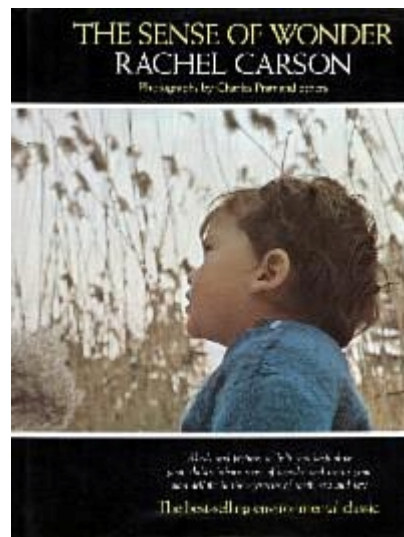
場所 下諏訪町立図書館 環境コーナー



レイチェル・カーソンは、環境問題の古典「沈黙の春」の著者として知られています。この本が書かれた当時、アメリカではDDTなどの殺虫剤が大量に使用されたり農薬の空中散布が実施されていました。「沈黙の春」は、人間が環境に対して行う破壊行為が何をもたらすか私たちに警告してくれる書です。

「センス・オブ・ワンダー」でカーソンは言います。「センス・オブ・ワンダー＝神秘や不思議さに目を見はる感性」をいつまでも失

わないように、そのために「私たちが住んでいる世界のよろこび、感激、神秘などをこどもといっしょに再発見し、感動を分かちあう」ようにと。



この巡回展は信州大学附属図書館から解説パネル18点写真18点をお借りして開催します。

共催 信州大学附属図書館

協力 日本レイチェル・カーソン協会

主催：下諏訪町立図書館・諏訪湖浄化推進連絡協議会

長野県諏訪郡下諏訪町清水町 4592-41 (連絡先 0266-27-5555)